

## 学習者中心のプログラミング学習環境の開発と評価 (ワークショップ)

オーガナイザ：鈴木聡（大阪経済法科大学），立岩佑一郎（名古屋工業大学）

本ワークショップは、学習者がすでに持つ知識・技能・経験を生かしながら、他者との相互作用の中で学習内容の理解を深められるプログラミング学習環境の開発と評価をテーマとします。

学習とは知識を持つ者（教員など）が持たざる者（学習者）へ一方的に知識を伝達し、学習者が受け入れることによって成り立つものと考えられてきました。しかし、人間の学習の過程についての研究が進むにつれ、「学習とは個々の学習者が既存の知識・技能・経験などを生かし、教員や他の学習者などの他者との相互作用も踏まえつつ自分の方法で知識を構築することである」と捉える学習観が重要であるという認識が広まり、この考え方をもとにした学習環境の開発・評価が様々な分野で展開されています。また、今後の社会で求められる知識・技能を見据えながらの学習環境の構築が必要なことは言うまでもありません。情報教育も例外ではなく、学習者中心の観点から、今後必要とされる知識・技能を示しつつ学習環境を組み立てる必要があります。

本ワークショップでは情報教育の中でも、とりわけ日常生活の中の ICT 環境の浸透が進み多様かつ膨大なデータの蓄積が進む社会において重要視され、今後学校教育において重点的に行われると予想されるプログラミング教育に焦点を当て、プログラミング教育を通して身につけることが望ましい知識・技能について論じながら、学習者の既存の知識・技能・経験を前提として学習内容の理解を促す試みや、他者との相互作用の中で学習内容の理解を深めるための協調学習環境の構築の試みを紹介し、その評価手法も含めて議論する場にします。

本ワークショップでは以下の内容の話題提供を予定しています。

鈴木聡（大阪経済法科大学）「ペアプログラミングの教育への導入：学習環境の開発・評価の現状と今後の展望」

立岩佑一郎（名古屋工業大学）「ペアプログラミング演習システム DIPES」

山住富也（名古屋文理大学）「e-Learning 教材を用いた Web プログラミングの反転授業」

津森伸一（聖隷クリストファー大学）「Excel VBA を用いたプログラミング授業の実践と課題」

長谷川信（岐阜聖徳学園大学）「語学教育とプログラミング」

吉根勝美（南山大学）「社会科学系におけるプログラミング教育」

野崎浩成（愛知教育大学）「『プログラミングを学ぶと論理的思考力が身につく』って本当か？  
ー形式陶冶・実質陶冶論争再びー」